

神経研究の進歩 第20巻 総目次

1976年（第1号—第6号）

〔特集 筋疾患研究最近の進歩〕

筋疾患研究最近の進歩

- 三好 和夫・多田 嘉明・川井 尚臣…… 3(1)
- 進行性筋ジストロフィー症の生理
学的側面……………佐藤 元…… 8(1)
- ミオトニア症候群の生化学的研究
の最近の知見……………馬渡 志郎……20(1)
- 眼筋型ミオパチーの本態およびミ
トコンドリア異常について…三田 哲司……26(1)
- ネマリン・ミオパチー……………杉田 秀夫……37(1)
- Myotubular (Centronuclear)
Myopathy ……木下 真男・川崎 研一……48(1)
- バキューオラーミオパチー—コルヒ
チンによる実験的 Segmental
Vacuolar Myopathy につい
て……………小口喜三夫・S.M. Chou……59(1)
- 先天性筋ジストロフィー症……………瀬川 昌也……68(1)
- 骨格筋におけるエネルギー産生系
とその先天性代謝異常……………垂井清一郎……81(1)
- (先天性) 脂質代謝異常によるミ
オパチー……………高木 昭夫……91(1)
- ステロイド・ミオパチー—成因に
関する生化学的解明……………庄司 進一……98(1)
- 悪性高体温症と筋小胞体……………高木 昭夫… 109(1)
- 多発性筋炎の病因論……………佐藤 猛… 114(1)

〔特集 自律神経—最近のトピックス—〕

- 自律系における目標値設定の機構
—セットポイントをめぐっ
て……………中山 昭雄… 165(2)
- 自律神経伝達物質放出の機構—
Exocytosis-Vesiculation
Sequence 仮説—……………長沢純一郎… 174(2)
- 自律神経節におけるシナプス伝達
機構—とくに交感神経節の緩
徐シナプス電位について—…小林 春雄… 186(2)
- 自律神経系の平滑筋支配様式につ
いて—とくに消化管につい

- て……………鈴木 光・栗山 熙… 199(2)
- 皮膚—内臓自律神経反射
佐藤 昭夫・佐藤 優子・鳥潟 裕子… 210(2)
- 小脳による循環系の制御機構……………道場 信孝… 218(2)
- Adie 症候群……………大野 新治・石川 哲… 229(2)
- 脳幹症(含間脳症)……………下田又季雄… 244(2)
- 特発性起立性低血圧症、とくに
Shy-Drager 症候群
……………倉田 誠・山口 達夫… 258(2)
- Riley-Day 症候群……………岡田 正直… 270(2)
- Local Panatrophы とその類縁疾
患……………古川 哲雄… 283(2)
- ダンピング症候群……………戸部 隆吉… 289(2)
- 自律神経と機能性動脈疾患
……………三島 好雄・大橋 重信… 299(2)
- レイノー症状 Raynaud's Disease
に対する定位蒼球手術
……………榎林博太郎・吉田 昌史… 307(2)
- 自律神経機能検査法としての血清
Dopamine- β -hydroxylase 活
性測定……………岡田 文彦… 315(2)

〔特集 神経病理〕

- 会長挨拶……………中村 晴臣… 353(3)
- 一般演題
- In Vitro での EAN 脱髄につい
て—Time Lapse Cinemato-
graphy による検索—
米沢 猛・石原 好弘・斎田 孝彦
長谷川通規・岡部 英俊・加藤 元一
中野 瞭…………… 354(3)
- 老人斑、海綿状態、脱髄など多彩
な病理像を示した脳症の1例
中島 克己・牧野 利夫・木下 潤
柳下 三郎…………… 362(3)
- 老人脳の超微形態的研究：とくに
老人斑における神経突起変性
の種類、および Synapse 変
性について……………石井 毅… 372(3)

アルコール性層状皮質硬化症 (Morel)といわれるベラグラ 脳症を合併した慢性アルコー ル中毒の1剖検例—各病変に 関する臨床的および病理学的 考察と知見補遺— ……………桶田 理喜・中野 隆史… 385(3)	横井 一郎…………… 436(3)
6-hydroxydopamine 投与サル脳 の神経病理学的研究, Am- mon 角の変化について 大浜 栄作・柴田太郎・山村 定光 生田 房弘…………… 400(3)	若年に発症し高血圧症を欠き同胞 にみられた Binswanger 型脳 症 前田 進・横井 晋・中山 宏 石田 陽一・根本 清治…………… 498(3)
変性型ミオクローススてんかんの 8剖検例—とくに淡蒼球・視 床下核系の変性の合併につい て— 小柳 新策・田中 政春・内藤 明彦 白川 健一・斎藤 清子・中村仁志夫 大浜 栄作…………… 410(3)	第16回日本神経病理学会学術研 究会一般演題抄録・討論…………… 507(3)
頸椎後縦靱帯骨化症の1剖検例 井上 聖啓・萬年 徹・中西 孝雄 豊倉 康夫・長嶋 和郎…………… 425(3)	〔特集 脳のシンポジウム〕
色素性乾皮症, De Sanctis-Cacchione 症候群1剖検例の神経病理学 的検討 小川 宏・大浜 栄作・熊西 敏郎 小宅 洋・片桐 忠・長島 忠昭… 434(3)	開会の辞……………伴 忠康… 585(4) 挨拶……………小川 鼎三… 586(4)
急性発症の小児水俣病長期経過の 1剖検例 髷藤 光明・桂木 正一・武内 忠男… 444(3)	I. 神経・筋接合(1) 神経・筋接合—解剖学の立場 から……………石川 春律・熱海佐保子… 588(4) 神経筋疾患と Trophic Factors ……………高守 正治… 594(4) 神経・筋接合と組織化学……………宇尾野公義… 605(4) 神経・筋接合の培養—神経性 栄養因子解明への試み— ……………米沢 猛・岡部 英俊… 617(4)
Central Core Disease: 脊椎側彎 を伴った2例における臨床 的, 組織化学的・電顕的検討 —本邦第1・2例— 田辺 等・伊藤 喜一・山根 清美 田淵 保則・野沢 胤美・熊野 潔… 458(3)	II. 神経・筋接合(2) 神経筋疾患における接合部の 問題点……………木下 真男・中里 厚… 628(4) 筋無力症候群における神経筋 接合部の微細構造……………福原 信義… 635(4) 神経・筋接合と筋構造蛋白 ……………杉田 秀夫・納 光弘… 644(4) ミオパチーにおける神経筋接 合部の微細構造……………三田 哲司… 652(4)
脳原発性悪性リンパ腫の研究—螢 光抗体法による検討— ……………熊西 敏郎・竹下 岩男… 470(3)	III. 神経放射線 今日における気脳撮影の役割 —側脳室下角のレントゲ ン解剖とアンモン角硬化 のレントゲン所見—……………久留 裕… 659(4) 脳の Gross Anatomy と脳血 管撮影……………伊藤 寿介… 669(4)
ENU 経胎盤投与によるラット神 経系腫瘍の病理形態学的研究 鈴木 豊・石田 陽一・川合 貞郎… 476(3)	IV. 神経疾患のトピックス 1. 全身こむら返り病……………里吉宮二郎… 681(4) 全身こむら返り病の臨床像 と病理所見……………高柳 哲也… 690(4) 全身こむら返り病と吸収機 能障害……………井上 聖啓… 699(4) 全身こむら返り病患者の胃 内視鏡所見 板原 克哉・大山 克己・大原 義朗
Down 症候群の小脳歯状核にお ける Spindelzell dysgenesis に ついて 室伏 君士・堀 映・飯塚 礼二	

- 小林 和夫・圓谷 健治・飯島 園碩
中村 正三・力丸 庄蔵…………… 706(4)
2. 皮膚症状, 内分泌症状なら
びに Dysglobulinemia を
伴う Polyneuropathy ……岩下 宏… 709(4)
- 色素沈着を伴う形質細胞腫
性ポリニューロパチー
8 症例の臨床病理学的
研究
西谷 裕・小西 哲郎・野口 貞子
鈴木 将失・木島 滋二…………… 727(4)
- 色素沈着, 剛毛, 浮腫, 耐
糖能低下, 女性化乳房
を来たし, 多クローン
性 IgG 増加を呈した
慢性多発性神経炎の 1
例……………清水 輝夫… 734(4)
- 多彩な内分泌, 皮膚症状を
呈したポリニューロパ
チー患者の免疫グロブ
リン(液性・細胞性)
について
高瀬 貞夫・飯島 園碩・関沢 剛
遠藤 実・中村 正三・伊藤 久雄
木村 格・今野 秀彦・成川 弘治
力丸 庄蔵・板原 克哉…………… 740(4)
- 皮膚色素沈着, 多毛, リン
パ節腫脹, 肝腫大, 乳
頭浮腫, Monoclonal
Gammopathy を伴っ
た多発性神経炎の 1 剖
検例
椿 忠雄・塚田 泰夫・堀川 楊
生田 房弘…………… 747(4)
3. ウィリス輪閉塞症: 一疾患
単位としての病態と病像…工藤 達之… 750(4)
- もやもや病のクライテリア
について……………西本 詮… 758(4)
- 閉会の辞……………藤森 聞一… 768(4)
- [特集 失外套症候群より無動性無言まで]**
- I. 概念の定義とその歴史, 背景
について
失外套症候群の脳病理学的
研究……………難波 益之・貝谷 壽宣… 781(5)
- Akinetic Mutism (無動性無
言) の定義とその病態…柳沢 信夫… 793(5)
- Coma Vigil—意識障害にお
ける用語の問題につい
て……………鳥居 方策… 806(5)
- 植物症—その概念と今後の問
題点—
太田 富雄・梶川 博・児玉 和典
山下 純宏…………… 816(5)
- Decerebration, Decortication
—Akinetic Mutism との接点—
……………大江 千廣… 827(5)
- Hemiplegic Mutism—脳底動
脈分岐部症候群—
……………加瀬 正夫・冷牟田英三… 836(5)
- Locked-in 症候群の定義とそ
の背景について
……………田崎 義昭・古橋 紀久… 847(5)
- II. 臨床例と病理—主として自験
例を中心として—
一酸化炭素中毒遷延型の病理
小宅 洋・巻淵 隆夫・小川 宏
竹内 幸美・吉村伊保子…………… 860(5)
- 一酸化炭素中毒における失外
套症候群 Das Apallische
Syndrom の臨床—その
行動障害の分析—……………志田堅四郎… 869(5)
- 失外套症候群を示した水俣病
の 4 剖検例, とくにその
神経病理学的研究
……………武内 忠男・衛藤 延江… 880(5)
- 頭部外傷による Persistent
Vegetative State
……………竹内 一夫・小栢 元英… 891(5)
- 脳血管障害と Akinetic Mut-
ism ……亀山 正邦・山之内 博… 902(5)
- 脳腫瘍患者に発現した Aki-
netic Mutism (無動性無
言) の臨床病理学的研究
新井 弘之・大里 克信・亀山 茂樹
植木 幸明…………… 911(5)
- 広汎な脳傷害例にみられた
無動, 無言状態について
……………小田 雅也… 922(5)
- 中枢神経系の発達期における
障害の臨床像について—
Das Apallische Syndrom

と Akinetic Mutism と
の関係について……………篠原 猛… 933(5)

Ⅲ. 病態生理学

吉田 充男・清水 夏絵・植木 彰… 946(5)

Ⅳ. 植物状態患者の社会的背景と

今後の問題……………鈴木 二郎・児玉南海雄… 957(5)

〔特集 神経および筋の組織培養〕

I. 方法論の基礎

総論：神経筋系研究に応用さ

れる組織培養の方法……………嶋田 裕…1001(6)

病的現象に応用される神経組

織培養の方法論的検討…米沢 猛…1011(6)

Ⅱ. 形態

神経筋接合部の形態発生

……………嶋田 裕・熱海佐保子…1018(6)

骨格筋の形態発生と分化……………石川 春律…1033(6)

Ⅲ. 生理

培養ニューロンのシナプス形

成……………小幡 邦彦…1046(6)

神経筋接合の生理……………城所 良明…1054(6)

培養骨格筋における電気興奮

性の発達……………加濃 正明…1065(6)

Ⅳ. 生化学

ニューロン・グリアの成長と

代謝……………中沢 恒幸…1076(6)

細胞培養と筋の成長……………小沢鉄二郎…1088(6)

培養筋細胞における筋構造蛋

白の発生分化……………真崎 知生…1098(6)

V. 組織培養法の疾患への応用

神経組織培養法の実験病理学

的研究への応用と成果…米沢 猛…1106(6)

組織培養法によるグリオーマ

の研究……………永井 政勝…1120(6)

組織培養法による神経・筋疾

患の研究…祖父江逸郎・若山 吉弘…1133(6)

〔原 著〕

Lafora 型ミオクローススでんか
んの尿中複合糖質の生化学的
研究

増田 博・武内 睦哉・国武 昭人

安楽 茂己……………124(1)

軸性変化の一指標としての血管壁

アルカリ性フォスファターゼ

の増加とアクチノマイシンD

によるその阻止

貝谷 壽宜・森内 巖・三上 泰史

M. Weikert・G.W. Kreutzberg ……131(1)

頭蓋X線計測の臨床的意義に関す

る検討—3種の Index につ

いて……………三宅 捷太・小宮 和彦… 140(1)

L-DOPA 投与量と大脳皮質第一

次視覚野, 連合野, および小

脳皮質虫部の光誘発電位

門林 岩雄・三上 正嗣・加藤 伸勝… 326(2)

Rous Sarcoma Virus, Schmidt-

Ruppin 株による実験的サル

脳腫瘍……………西田 和男… 332(2)

植物状態患者の経時的脳波の検討

坂本 哲也・児玉南海雄・鈴木 二郎

平賀 旗夫, 小沼 武英…………… 966(5)

両眼同時記録赤外線電子瞳孔計に

よる瞳孔運動の日内変動につ

いて

内海 隆・石川 哲・木村 徹… 977(5)

小脳摘出あるいは片側小脳脚切断

後の脳幹の神経細胞の逆行変

性と間接 Waller 変性の検討

……………藤井 正子・草間 敏夫…1145(6)

G_{M1}-gangliosidosis の生化学分析

工藤 亨・山口 衛・折居 忠夫

中尾 亨・坂上 利夫……………1158(6)

遅発性てんかんの臨床—Etiology

との関連について—

川口 進・森山 隆志・鈴木 重晴

岩淵 隆・大沼 悌一・福島 裕…1165(6)

〔書 評〕

Donald H. Ford 著「Anatomy of
the Central Nervous System
in Review」……………萬年 甫… 156(1)